

BUNBUN Funabashi.

ぶ ん ぶ ん

ふ な ば し

第 27 号

年 6 回 発行

無料

2023 年 7 月 31 日 発行
発行 船橋市文化振興推進協議会
TEL 047-436-2894

2023

8 月 ~

9 月

縄文と 現代アートが 出会う夏

市教育委員会と文化施設のイベント情報を
ひとつにまとめた WEB 版フリーペーパー！



市民文化ホール/きららホール/郷土資料館/飛ノ台史跡公園博物館
市民ギャラリー・茶華道センター/アンデルセン公園子ども美術館 ほか

WEB 版



R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

6 つの施設が毎号交替でイチオン情報をお届けします。第 27 号（8,9 月号）の担当は飛ノ台史跡公園博物館です。詳しくは 4 ページへ！GO！

各施設からのお知らせ



飛ノ台史跡公園博物館

<https://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0001/0006/0001/p036786.html>

<休館日>

9/18を除く月曜日、
9/19(火)

TEL 047-495-1325

第22回 縄文コンテンポラリー展 in ふなばし

かえる ～原始の創造とアートの想像～

【会期】開催中～8月27日(日)

【会場】飛ノ台史跡公園博物館

【料金】一般110円

小学生～高校生50円(市内在住の中学生以下無料)

【内容】縄文時代の遺物からインスピレーションを受けたアーティストによって生み出された様々な作品を展示します。

第22回となる今年は「かえる～原始の創造とアートの想像～」がテーマです。この夏、新たな縄文に出会ってみませんか。詳しくは4面をご覧ください。



郷土資料館

<https://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0001/0005/0001/p011081.html>

<休館日>

9/18を除く月曜日、9/19(火)

TEL 047-465-9680

令和5年度船橋市郷土資料館企画展「私たちのまなびや」

【会期】開催中～9月10日(日)

【会場】郷土資料館3階第2展示室

※8月1日(火)～4日(金)、8日(火)、20日(日)、25日(金)、9月3日(日)に企画展ワークショップ開催(時間・内容はホームページ参照)

船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念事業

「早慶戦の大乱闘 リング事件から90年」展

【会期】開催中～8月21日(月) 午前9時～午後9時 ※8月14日(月)のみ休館

【会場】船橋市総合体育館(船橋アリーナ)内吉澤野球博物館資料展示室

スポーツ講演会「早慶「舌」戦 リング事件から90年～その真実は～」

【会期】8月11日(祝・金)13時～14時30分

【会場】船橋市総合体育館(船橋アリーナ)大会議室

【講師】笹山俊彦氏(早稲田大学応援部稲門会)、三田完氏(慶應義塾大学応援部三田会)

【人数】先着50名(参加希望者は郷土資料館までご連絡ください)

ワークショップ「さわってみよう!むかしの道具」

【会期】8月2日(水)、9日(水)14時～15時30分

【会場】船橋市郷土資料館

【内容】身近な道具の移り変わりについての解説と、道具を触り観察するワークショップです。

【人数】各先着10名 ※小学2年生以下は保護者同伴

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が第5類感染症へ以降しました。各施設・イベントの方針に従い、引き続き感染対策にご協力ください。



ふなばし三番瀬 環境学習館

TEL 047-435-7711

<https://www.sambanze.jp/>

<休館日>

9/4(月)、9/19(月)

夏の特別展「さいきょう妖怪サバイバル」

【日時】開催中～9月3日(日)

開催時間 9:00-17:00 受付終了 16:30

【料金】利用料(※)+400円/回

【対象】どなたでも(小学校4年生以下保護者同伴)

【会場】学習館2階多目的ホール【申込】当日受付

【内容】生きものパーツと知識をあつめてクイズに挑戦!
キミだけのさいきょう妖怪をつくりだそう!



特別展開連ワークショップ「オリジナル妖怪を作ろう」

【日時】開催中～9月3日(日) 受付時間 10:00-12:00、13:00-15:00 【料金】400円/個

【対象】どなたでも(小学校4年生以下保護者同伴) 【会場】学習館1階エントランス

【申込】当日受付。なくなり次第終了

【内容】たくさんの材料の中から好きものを選んで、自分だけのオリジナル妖怪を作っちゃおう!

ちびっこ集まれ!すなば「びしょ濡れ!砂遊び」

【日時】8月27日(日)、9月3日(日)13:00-15:00 【料金】利用料(※)+300円/人(保護者は利用料のみ)

【対象】未就学児とその保護者【定員】4組(交代制) 【会場】学習館2階テラス 【申込】当日受付

【内容】暑～いこの季節!水を思いっきり使って砂場で遊ぼう。お土産のタオルつき。

生きもののおくみを知ろう「花」

【日時】9月9日(土)13:00-15:00 【料金】利用料(※)+600円/セット

【対象】小学生以上(小学校4年生以下保護者同伴) 【定員】8組 【会場】キッチンスタジオ

【申込】抽選。同館HPにて受付。9月2日(土)17:00締切

【内容】食べられる花「エディブルフラワー」を使って、花のおくみを調べます。

花びらは何枚?がくはどれ?最後はケーキにデコレーションして食べちゃおう!

※環境学習館有料スペース利用料:一般400円/高校生200円/小中学生100円/船橋市内小中学生・未就学児無料



ふなばしアンデルセン公園 子ども美術館

<https://www.park-funabashi.or.jp/and/kodomo/>

TEL 047-457-6661

<休館日>

9/4(月)、11(月)、25(月)

展示「令和5年度 小・中・特別支援学校「夢・アート」展」

【会期】8月23日(水)～9月3日(日)

【会場】子ども美術館 展示室1・2

【内容】船橋市内の小・中・特別支援学校で授業中に制作した作品の中から、各校の代表作品を展示します。



展示「ゆらゆら ぱらぱら ひらひら 柔らかな絵本の世界へ」(仮称)

【会期】9月20日(水)～30日(土) 【会場】子ども美術館 展示室1・2

【内容】千葉工業大学建築学科 遠藤政樹研究室による和紙を使った巨大な体験型作品等の展示。



きららホール

TEL 047-423-7261

<休館日>
毎月最終月曜日

<https://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0001/0002/0001/p011078.html>

船橋市民文化創造館 開館 20 周年記念
伊藤 薫 with ふなばしのアーティスト～歌で元気に！伊藤薫作品を合唱しよう～

【日時】9月16日(土) 15:00 開演 (14:30 開場)
【出演】伊藤薫 (作詞・作曲家、歌手)、恭子 (歌謡曲)、櫻井淳 (クラシック)、工藤わたる (ロック)、坂本りえ (民謡)、
公募による参加者 (合唱)
【サポートメンバー】石井裕介 (ギター)、野本晴美 (ピアノ)、鳥居明美 (ピアノ) 【司会】美加
【料金】一般 2,500 円、友の会会員 2,200 円、高校生以下 1,000 円、ペアチケット 4,600 円
※未就学児入場不可

<無料公演>

夏休みワークショップ 音楽にのって絵本の世界を描こう～絵本「7色サンタクロース」より～

【日時】8月20日(日) 13:00 から
【講師】岡元邦治 × 声松優一 【サポート】劇団☆ゆにいへく&びいへす 【料金】無料
【対象】市内小学生 【定員】計 18 名 ※保護者同伴のこと 当日鑑賞：先着 153 名
(どちらも定員になり次第締切)

ちょっとよりみちライブ vol.219 船橋よりみち落語会～春風亭橋蔵・瀧川鯉舟二人会～

【日時】9月21日(木) 18:30 開演 (18:00 開場) 【出演】春風亭橋蔵、瀧川鯉舟
【料金】無料 【定員】当日先着 250 名 (申込不要)



市民ギャラリー

開催時間等は
お問い合わせください。

<https://www.f.bunspo.or.jp/gallery/>
TEL 047-420-2111

8月の日程	
8/1(火)～ 8/13(日)	第9回ふなばし現代アート展(アラカルト)
8/14(月)～8/18(金)	第30回記念香寿会展
8/14(月)～8/20(日)	山崎 暁 個展 背景紙(絵画)
	第30回三軌会写真部千葉支部展
8/22(火)～8/27(日)	千葉工業大学文化会写真部 なつてん
8/25(金)～8/27(日)	墨友会展(書と刻字)
8/26(土)～8/27(日)	ジョイフル恵利 新作振袖発表会
8/28(月)～9/3(日)	第27回フォトクラブかかしの会写真展
8/29(火)～9/3(日)	アートを体験する3日間成果展覧会
8/31(木)～9/3(日)	全日本写真連盟第5回デジタル支部写真展
	糸の会

9月の日程	
9/1(金)～9/3(日)	着物リメイク日月堂個展 ハナノチカラ
9/4(月)～9/10(日)	フォトINF展
	第41回アトリエみはな展(絵画)
9/5(火)～9/10(日)	アトリエ点(人物デッサン・サークル)
	35周年記念展覧会
9/6(水)～9/10(日)	彩舟会・彩画会合同作品展(絵画)
	みんなの書道展
9/11(月)～9/17(日)	第20回法典フォトクラブ写真展
9/12(火)～ 9/17(日)	第46回等廻会千葉支部展
9/14(木)～ 9/17(日)	平和のための戦争展・ちば (写真・パネル・資料)
9/18(月)～ 9/24(日)	クルール展(油彩・水彩・パステル等)
9/19(火)～ 9/24(日)	第8回現代ワックスアート展
	書心の森へpart3～仮名の未来を求めて～
9/26(火)～10/1(日)	第46回船橋市いけばな展



市民文化ホール

TEL 047-434-5555

<休館日>
祝日を除く毎週月曜日

<https://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0001/0001/0001/p011077.html>

千葉交響楽団特別演奏会ファミリーコンサート in 船橋
～青島広志といつかどこかで耳にした名曲を～

【日時】8月19日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)
【出演】青島広志 (指揮とお話)、小野つとむ (テノール)、千葉交響楽団 (管弦楽)
【料金】大人 2,000 円、高校生 1,000 円、子ども (4 歳～中学生) 500 円 ※4 歳未満入場不可

でんじろう先生のドキドキわくわくサイエンスショー【残りわずか】

【日時】8月27日(日) 13:30 開演 (13:00 開場)、16:00 開演 (15:30 開場) ※2 回公演
【出演】米村でんじろう 【料金】一般 3,000 円、友の会会員 2,700 円 ※3 歳以上有料 ※2 歳以下膝上鑑賞無料

戯曲音劇「銀河鉄道の夜」

【日時】9月23日(土) 18:00 開演 (17:15 開場)
【出演】花守ゆみり(語り)、浦 和希(カムパネラ)、白井悠介(ジョヴァンニ)
ヌビア(チェロ・ディレクター)、bataojisan(ピアノ)、
戯曲音劇カルテット(弦楽四重奏)
【料金】S 席 一般 6,000 円、友の会会員 5,500 円、A 席 一般 5,000 円、
友の会会員 4,500 円、B 席 一般 4,000 円、友の会会員 3,500 円、
高校生以下 1,000 円 ※未就学児入場不可



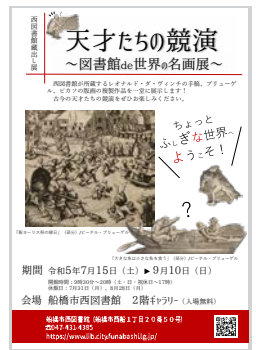
西図書館

<休館日>
8/28(月)、9/14(木)、9/25(月)

TEL 047-431-4385 <https://www.lib.city.funabashi.lg.jp/>

「西図書館蔵出し展 天才たちの競演
～図書館 de 世界の名画展～」

【会期】開催中～9月10日(日) 【会場】船橋市西図書館 2階ギャラリー
【料金】無料
【内容】西図書館が所蔵するレオナルド・ダヴィンチの手稿、ブリューゲル、
ピカソの版画の複製作品を一堂に展示します！古今の天才たちの競演を
ぜひお楽しみください。



文化課

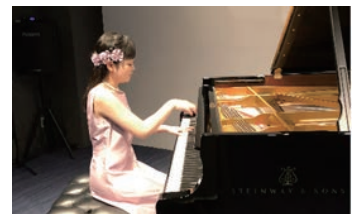
<https://www.city.funabashi.lg.jp/event/concert/p118066.html>
TEL 047-436-2894

Information

ロビーコンサート

文化課では、市内及び近郊の音楽家に演奏の機会を提供するとともに、昼のひとつき、皆様が生の音楽に触れることで、心豊かな時間を過ごしてもらうことを目的に8月を除く毎月第3水曜日(祝日の場合はその前後の週)に「ロビーコンサート」を開催しています。

【日時】9月20日(水) 【会場】市役所1階・市民ロビー
【料金】無料 【出演】秋月舞(ピアノ)



Pick up!!

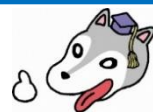
縄文×令和 一時を超えた融合ー

学校が夏休みに入るころ、飛ノ台史跡公園博物館（以下：とびはく）の展示室や史跡公園に、多くの芸術作品が展示されます。

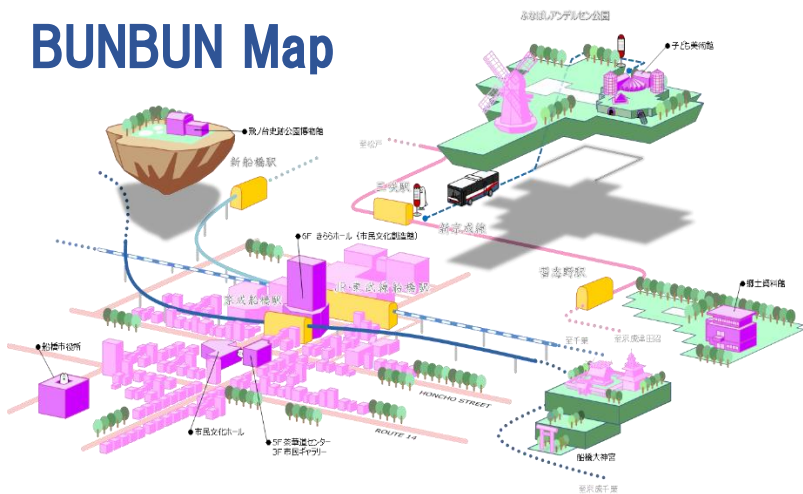
とびはくの夏といえば、縄文コンテンポラリー展！！今年のテーマは「かえる ～原始の創造とアートの想像～」で、7/16（日）から開催しています。9組のアーティストたちは博物館が所蔵する土器や土偶などの遺物との対話を経て、アートという形で表現しています。陶芸・彫刻・絵画など様々な手法で作られた作品が館内外を彩ります。また、期間中の土日は子どもから大人まで楽しく参加できるワークショップも開催します！

夏休み、いつもと違うアートなとびはくに来てみませんか？

日時：開催中～8月27日（日） 午前9時から午後5時
（入館は午後4時30分まで、最終日は午後3時まで）
※毎週月曜日は休館
入館料：一般110円、小～高校生50円（※市内在住の小中学生は無料）



BUNBUN Map



「BUNBUN」ってどんな意味？」

ブンブンと飛び回って蜜を集めるミツバチの様に、船橋の文化施設を巡り「楽しい」を身近に感じてもらうという思いを込めて名付けました。

アートから縄文にかえる

第22回のテーマは「かえる ～原始の創造とアートの想像～」です。今回は現代のアート作家の想像力を利用し、縄文時代の創造物へ逆進する意味合いで「かえる」を企画展のキーワードにしました。また、「かえる」に含まれる多義性（帰る、変える、還る、カエル、孵る、など）がコンテンポラリー展の自由度を膨らませてくれると考え、敢えて意味を絞らない平仮名表記の「かえる」を展覧会名としました。作家が縄文との関連で「かえる」を創造したり、鑑賞者が作品の中に「かえる」を見つけ出したりするなど、多様な楽しみ方ができる企画展となっています。



▲1階展示室の展示

来館者へメッセージ

縄文時代の遺物や遺構が発掘、展示されている場所で開催されるアートイベントの意味合いや関連を探っていただきながら、現代アーティストが表現する想像と創造を、出土した展示物と比較して楽しんでいただければと思います。（縄文コンテンポラリー展 実行委員会）